

# 金沢医科大学 氷見市民病院



比美乃江大橋

新任医師紹介

医師・研修医

医療安全対策部紹介

医療安全対策部の活動内容

医療安全対策部スタッフ紹介

報告：金沢医科大学病院での研修に参加して（看護部）

## 医師紹介

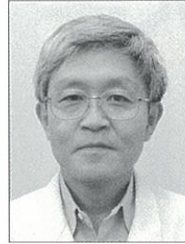
### 新任医師



川原 弘 特任教授  
消化器機能治療学（消化器内科）

このたび7月1日付けにて、金沢医科大学氷見市民病院、消化器内科担当医として着任しました。ここでは消化管・肝臓・胆嚢・膵臓などの腹部臓器を対象とした内科診療を行っています。消化管疾患では内視鏡による診断と治療に加えて胃瘻造設とチューブ交換を行っています。

一方、各種肝疾患の治療では、B型肝炎に対する抗ウイルス療法ならびにC型肝炎に対するインターフェロン療法などを積極的に行っていきます。また、研究テーマであったアルコール性および非アルコール性肝疾患の診療にも力を注いでおります。当科が取り扱う疾患範囲が広いことから、日常診療での患者数も多く体力勝負となっておりますが、少しでも皆様のご期待に添えるように努力いたす所存でございます。皆様のご指導・ご鞭撻をよろしく願いたします。



宗 志平 准教授  
地域医療学

このたび7月14日付けで金沢医科大学氷見市民病院に着任いたしました。私は中国の医科大学を卒業後、金沢医科大学で研究を続けるとともに、各地の病院で内科の臨床経験を重ねてまいりました。氷見市民病院では地域医療、特に僻地医療に貢献したいと考えております。また、氷見は高齢者の方も多いと聞いていますので老人医療の充実にも貢献したいと思っております。

金沢で在住していた頃から、氷見はお魚の美味しいところと聞いていましたので、今から魚の美味くなる冬を楽しみにしております。また、時間があれば市内を散策したり、きれいな港へ出かけ海をながめてストレス解消をしています。

私の信条は「郷の入れば郷に従え」です。氷見市民の皆様よろしく願いたします。

### 臨床研修医

宇佐美 潤 臨床研修医  
(富山大学出身)



研修医1年目の宇佐美です。4月から内科で研修させていただきます。研修医の2年間というのは、知識や手技だけでなく今後の医師としてのあり方や考え方を身に付ける大切な時期です。この病院での研修はとてもアットホームな雰囲気であり、先生方はとてもやさしく熱心に指導していただけます。看護師や他のスタッフもとても親切してくれます。このようなすばらしい環境の中で医師としてのスタートを出来たことをとても嬉しく思います。まだまだ未熟で皆様にご迷惑をかけることもあるかと思いますが、『病氣』ではなく、『病氣を抱えた患者さん』と向き合える医師を目指して頑張りますので、これからもよろしく願いたします。

島田 俊嗣 臨床研修医  
(杏林大学出身)



4月より当院に臨床研修医として勤務しています。現在は内科で研修中ですが、common diseaseを中心に幅広くジェネラルに学んでいます。また、他科の先生方へ相談してもいろいろな指導を受ける事ができます。勿論自分も「医師」の一人であり、確かな責任感をもって行動する事が求められます。だからといって堅苦しく身構えるのではなく、分からない点があれば医師やコメディカルスタッフの方々いつでも相談できる環境が当院では整っています。医師になって最初の2年間は非常に大切な時期だと思っています。この期間はモチベーションを高く保ち多くのことを吸収していきたいと考えています。

## 医療安全対策部紹介

医療安全対策部とは医療安全の推進を行う部署です。

〈医療安全対策部の活動内容〉

1. 医療安全に関する委員会(医療安全委員会・院内感染対策委員会・褥瘡対策委員会)の運営や、医療安全に関わる対策の検討を行います。
2. 医療安全に係る連絡調整を行い、医療安全対策の周知と推進を行います。
3. 医療安全相談や診療情報提供など、安心・安全な病院作りを行います。
4. 職員の資質向上のために必要な研修会を開催します。

医療安全管理者(専従リスクマネージャー)  
長井 絹子 課長代理



「患者さん中心の安心で質の高い医療の提供」を目標に、医療安全に関する業務の統括と指導を行っています。

患者さんや職員の皆さんのご意見は医療事故防止につながる大切な宝です。これからも、積極的なご意見をお寄せ下さい。

院内感染管理者(感染管理認定看護師)  
谷畑 祐子 主任看護師



「医療環境で患者さんや訪問者、そして病院に勤めるすべての人々を感染から守る。また、感染防止する活動ができる」との目標を掲げて活動をしています。病院だけでなく、氷見市という地域全体

が感染対策に取り組むようにお手伝いしたいと思っていますので気軽に声をかけてください。

### 医療安全研修会

20年7月18日院内講堂において、医療安全研修会が開催されました。研修会は厚生労働省より年に2回の開催が義務づけられています。医療安全の基礎的知識やインシデントレポートの大切さなどについて、職員が学ぶ機会となっています。



### 感染対策研修会

20年6月25日、7月2日・23日の3日間「標準予防策を知ろう!」と題して開催されました。参加者が実際に防護具を装着する実習で「装着手順の振り返りや、新しい装着が学べてよかった」などの感想が寄せられました。



## 医療安全対策部スタッフ



前列左から 知久田 博医療機器安全管理者、吉田百合子医療安全対策部長、堤 貴夫事務員

後列左から 谷畑祐子看護師、本江孝希医薬品安全管理者、長井絹子看護師

## 報告

## 金沢医科大学病院での研修に参加して

看護部 加納 千春

6月26日、金沢医科大学病院に当院師長代理会から8名が研修に参加しました。看護部長さん・各セクションの師長さんより丁寧に病院を案内していただき、感染・安全を考慮した病院構造や整理整頓、患者さんが落ち着いて治療を受けるための配慮など、いろいろ勉強しました。

8月8日の「見学報告会」で、フロアから「大学は働きやすい構図に配置されている」、「患者のプライバシーが守られている」、「患者が過ごしやすい環境設備と癒しの空間の確保」と、様々な感想が聞かれました。見学で学んだこと、報告会で得た意見を参考に新病院建設に向けてより良い看護を提供できるように、今後も取り組んでいきたいと思えます。

